



(独)国立がん研究センターの 概要



理念

1. 世界最高の医療と研究を行う
2. 患者視点で政策立案を行う

使命

1. がんの解明と発症予防
2. 高度先駆的医療の開発
3. 標準医療の普及
4. 情報の収集と提供
5. 人材の育成
6. 政策の提言
7. 国際貢献

がん研究センター略史



1962 1月 国立がんセンター開設

1981 9月 研究所開設

1992 7月 東病院開院
中央病院に名称変更

2004 2月 がん予防・検診研究センター開所

2005 10月 臨床開発センター開所

2006 10月 がん対策情報センター開所

2010 4月 独立行政法人へ移管



がん対策のあゆみ

1964年 がん対策小委員会決議
「がん対策の5本柱」

1984年 対がん10ヶ年
総合戦略

1994年 がん克服新10ヶ年
戦略

2004年 第3次対がん10ヶ
年総合戦略

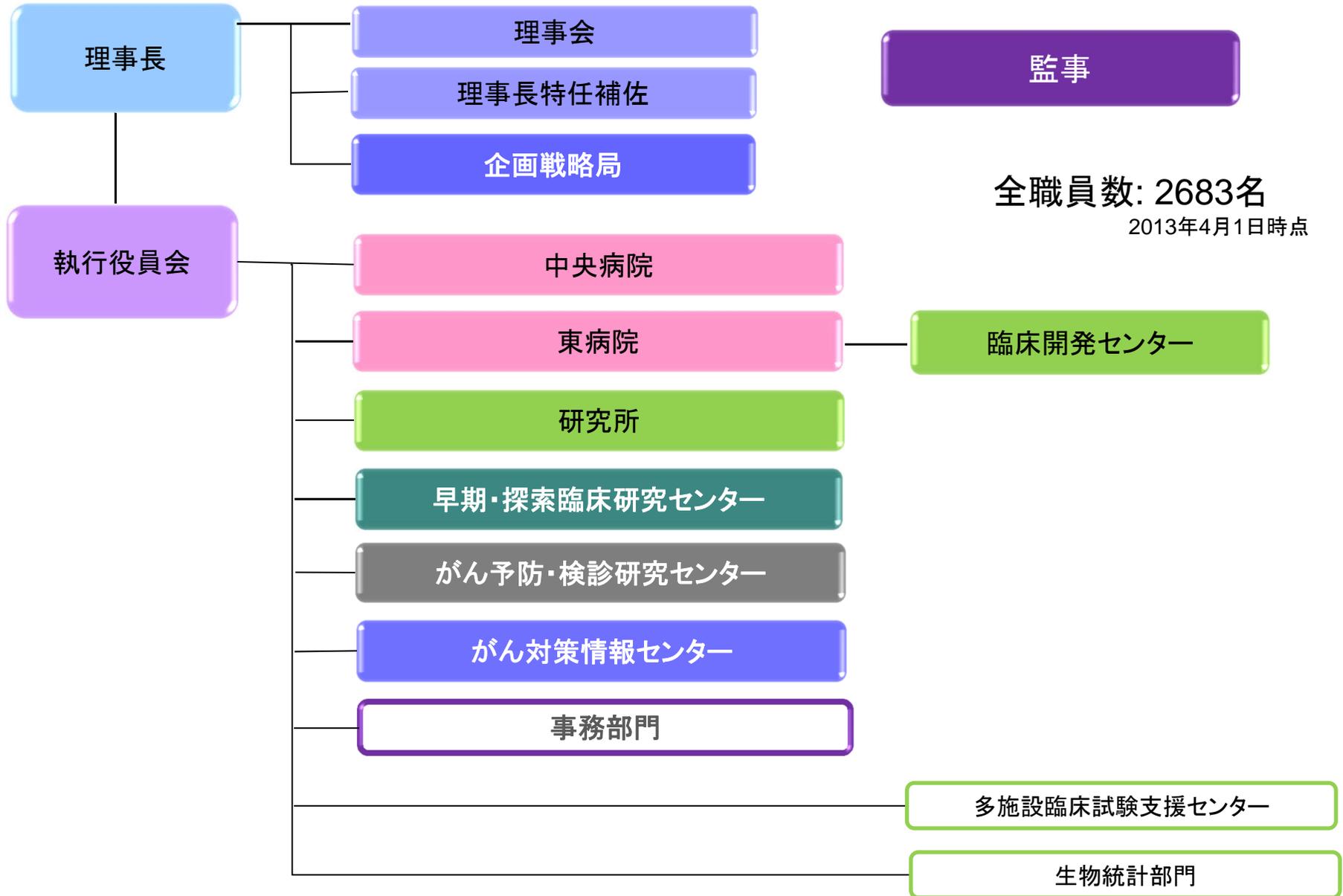
2005年 アクションプラン2005

2006年 がん対策基本法成立

2007年 がん対策推進基本計画

2012年 がん対策推進基本計画
(変更)

組織図



中央病院

600 床

医師172人, レジデント(チーフ・短期含)143人

看護師528人

2013年4月1日時点

特色

外来治療

- 1日約1000人ほどの診療を実施(新規・継続)
- 通院治療センター
 - ・36床
 - ・1日約100人の化学療法を実施
- 高精度放射線治療

入院治療

- 16室の手術室で、年間約4500件以上の外科手術
- 消化管の早期がんに対する内視鏡を使った根治切除(粘膜切除術、粘膜下層剥離術)
- 2台のAngio-CT装置を用いた最先端の画像誘導下治療
- 造血幹細胞移植
- 緩和医療と患者支援
- 病院に立脚した臨床試験・臨床研究



3F 通院治療センター



東病院

425 床
(うち25床 緩和ケア病棟)

特色

- 陽子線治療棟
 - がん治療への新たなる挑戦—
 - 国内初、世界でも2番目の病院内設置の医療専用施設
 - 病棟と直結のため、入院・外来どちらでもスムーズな治療が可能
- 緩和ケア
 - 患者と家族が日常生活を快適に過ごすための、精神・肉体・社会的な総合サポート
- 臨床開発センター
 - 心と体にやさしいがん医療の実現
 - 次の時代の診療技術を創り出す



陽子線棟

研究所

- 国内最大のがん専門研究施設
284名の研究スタッフを擁す
(非常勤、リサーチ・レジデント、外来・客員研究員、
事務を含む。2013年4月1日時点)

主な業績

1960年代から90年代には

- 食品中の発がん物質ヘテロサイクリックアミンを発見した。
- PCR-SSCP法を開発した (被引用回数 3,000回 以上)。
- 染色体21番のマップを完成し、白血病の原因遺伝子 *AML1* を同定した。

最近では

- 肺がんでの融合遺伝子や、C型肝炎ウイルスに伴う肝がんの特徴的な突然変異を同定した。
- 新しい創薬標的として、*TNIK*, *RPN2*, *GLIS2*などを見出した。
- エピジェネティックな発がんの素地という概念を樹立した。
- 複数のがん種について、患者層別化のためのマーカーを開発した。



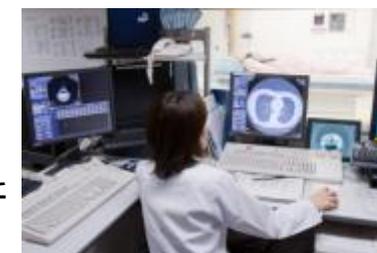
がん予防・検診研究センター

国民・人類のがん罹患率・死亡率の減少を目指して

- **がんの原因究明のための疫学研究**
 - 大規模コホート研究などによるエビデンス構築
- **予防法の開発と評価**
 - 有効な予防法の開発、エビデンスに基づく因果関係評価、がん予防ガイドライン
- **検診法の評価と実施管理**
 - エビデンスに基づく有効性評価、がん検診ガイドライン、実施管理(受診率向上、精度管理)
- **検診技術の研究と開発**
 - 新しい検診技術の開発と精度評価
- **政策的な側面についての研究**
 - リスク・ベネフィット評価、経済評価、普及方法の開発
- **がん検診の実施**
 - 胸部ヘリカルCT, MRI, PET等を用いた高精度な検診
 - 年間約4000人が受診
 - 予防・検診研究のための約1.5万人のコホート構築



地域住民ベースの
大規模コホート研究



検診受診者を対象とした
予防・検診研究

がん対策情報センター

2006年10月開設

正しいがん情報の普及とがん医療の均てん化の推進のための対外支援活動



<7つの機能>

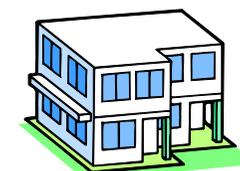
- がん情報提供の実践の研究
- がん統計の解析(がん登録)の実践と研究
- がん診療の支援の実践と研究
- がん研修の実施の実践と研究
- がんサバイバーシップ支援の実践と研究
- がん政策科学の実践と研究
- たばこ政策の実践と研究

情報提供

インターネット
印刷物



患者さん、家族、一般国民



拠点病院以外の
医療機関

相談

支援

連携

拠点病院(厚労省指定): 397 施設(2013年4月現在)

都道府県がん診療連携
拠点病院

地域がん診療連
携拠点病院

相談支援
センター

連携
支援

相談支援
センター



本や冊子



ホームページ



早期・探索臨床研究センター



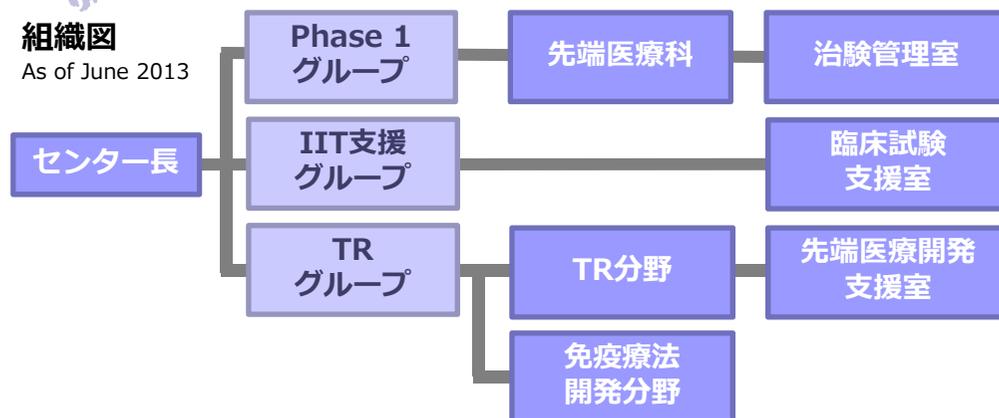
NCC-EPOCの3つのMission

- ・ First-in-human試験
- ・ 未承認薬での医師主導治験 (POC試験)
- ・ トランスレーショナルリサーチ



組織図

As of June 2013



沿革

2011年7月	厚生労働省「早期・探索的臨床試験拠点整備事業」に選定
2012年9月	研究所・病院等と並列の組織として設立
2013年4月	独自採算セグメントとして正式発足

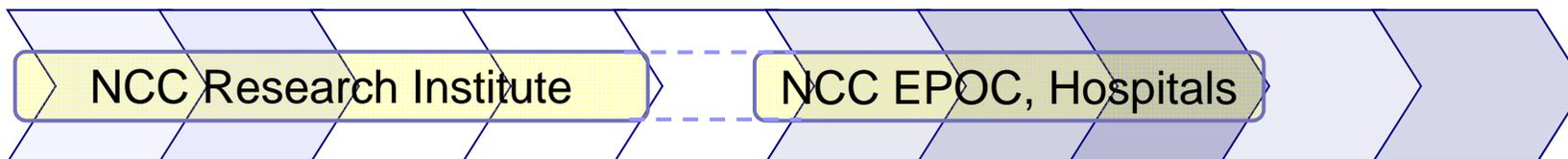
実施中の治験

As of June 2013

	前臨床	Phase I	Phase II	備考
アカデミア発シース	5	3		国がん、慶應、がん研、医薬基盤研など
FIH試験		9		医師主導 1、国内企業 6、外資企業 2
医師主導治験		2	4	対象：未承認薬 その他Expand Access Program (EAP) 1試験

産官学連携による創薬研究の推進

Basic Research Target Discovery Target Validation Lead Discovery Pre-Clinical Clinical Phase I Clinical Phase II Clinical Phase III Manufacturing Distribution



Daiichi-Sankyo

第一三共

肺がん、白血病治療薬など

ベンチャー企業

キナーゼ阻害剤



Astra Zeneca, Merck Serono, etc.,



島津製作所

質量分析法による解析



シスメックス

バイオマーカー、診断薬の開発



産業技術総合研究所

創薬分子プロファイリング



理化学研究所

卵巣がん、白血病(創薬・医療技術基盤プログラム)



医薬基盤研究所 創薬支援戦略室

創薬支援ネットワーク

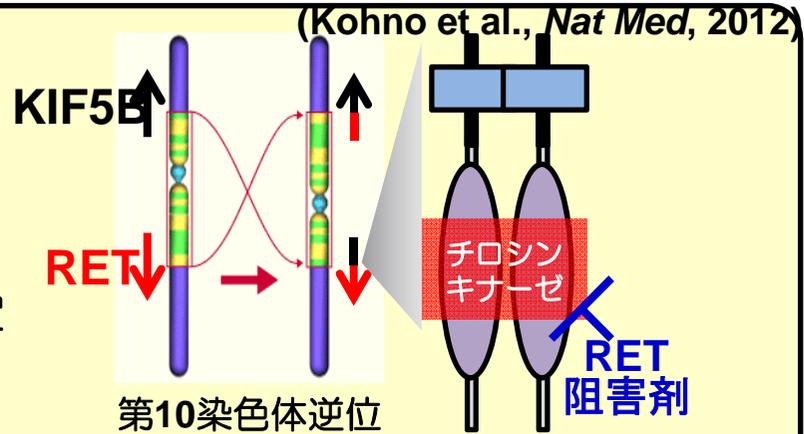
RET遺伝子融合を標的とした肺腺がんの個別化治療

新しい治療標的遺伝子の同定

肺腺がん試料30例
(NCCバイオバンク試料)
の全RNAシーケンシング

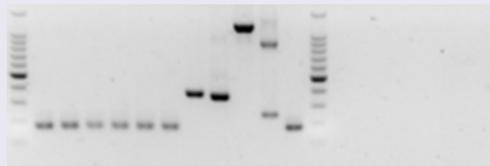
新規ドライバー**RET融合遺伝子**の同定
日本 6/319 (1.9%) & 米国 1/80 (1.3%)

医薬基盤研 保健医療分野における基礎研究推進事業 / 厚生労働省 第3次対がん10か年総合戦略研究事業



RET融合肺がんの診断法の確立

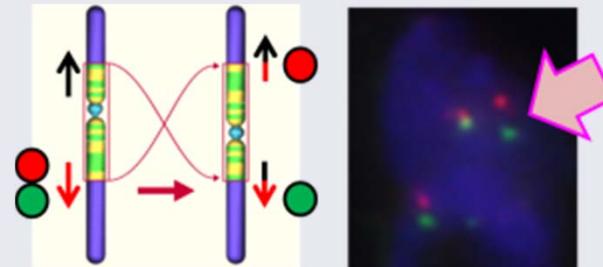
RT-PCR



融合陽性

陰性

Fluorescence *in situ* hybridization



2011年1月
検査企業へ
技術移管

がん研究開発費

医師主導治験

RET融合陽性肺がんに対する第II相バンデタニブ医師主導治験 (2013年1月開始)

試験デザイン: **RET融合陽性肺非小細胞がん17例**に対する非盲検・単群試験

主要評価項目: 奏効率

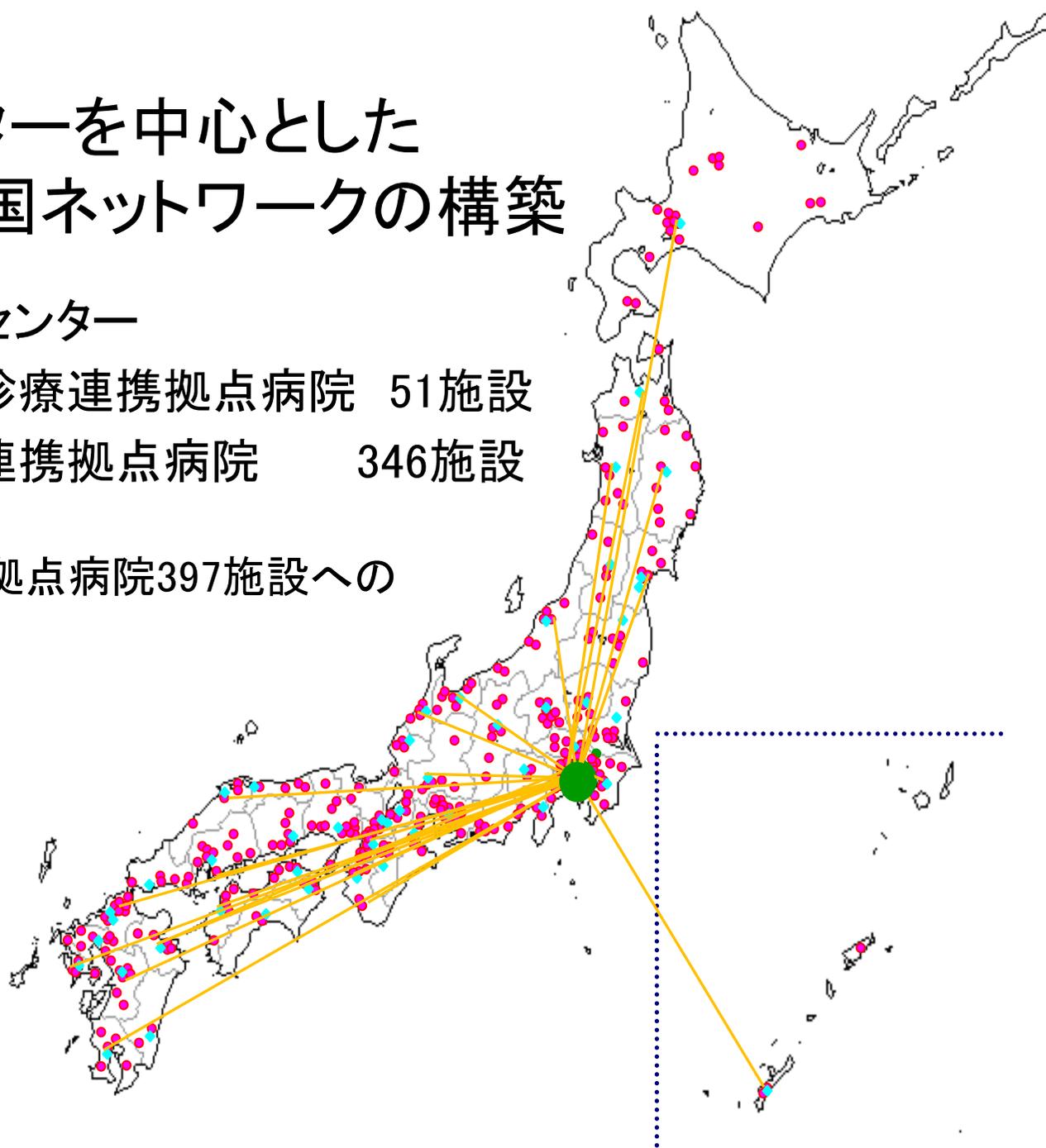
主任研究者: 国立がん研究センター東病院呼吸器内科 後藤功一

厚生労働省 医療技術実用化総合研究事業

がん研究センターを中心とした がん医療の全国ネットワークの構築

- 国立がん研究センター
- ◆ 都道府県がん診療連携拠点病院 51施設
- 地域がん診療連携拠点病院 346施設

全国のがん診療連携拠点病院397施設への
診療支援体制を構築



職員の全ての活動はがん患者の為に！

(1) 臨床

(2) 研究

(3) 教育

(4) 外側の大きな輪は患者・国民の協力

